



中国の病院に医療技術や運営モデルを提供する社会医療法人博愛会相良病院の相良吉昭理事長（左から2人目） 11月27日、鹿児島市

## 相良病院 中国の病院支援

相良病院（鹿児島市）

を中核とする一般社団法人さがらウイメンズヘルスケアグループは27日、鹿児島市で会見し、中国・大連市に新設される女性向け病院に医療技術や病院運営

### 鹿児島市

ノウハウを提供すると発表した。グループの東京オフィスで遠隔画像診断を行うほか、相良病院が取り組む乳がん患者の家族のケアなど、病気と向き合う環境づくりを支援する。

## 女性疾患治療の技術提供

同グループによると、病院の運営モデルの提供は珍しいという。

新病院は「相良耘泰大連医院」で来年8月開業。富裕層向けで1

50床あり、乳がん治療をする乳腺科や甲状腺科など女性の疾患に特化した女性医療センターと人間ドックセンターで構成する。

提携は中国側から持ちかけられた。グループ代表で相良病院を運営する社会医療法人博愛会の相良吉昭理事長は「出資を伴わず価値

を認めてもらっての進出。中国で質の高い医療を提供することで、相良病院の企業価値の向上につながる」と話した。

会見には、新病院の王豊弋理事長とサポート会社の陸炬理事長も出席。医師数が足りない中国では、画像検査や病理検査などの見逃しや誤診が多く医療への信頼性が低いとして「さがらグループの協力を得て信頼ある医療を提供したい」と話した。

（園田尚志）